

2022年9月1日

防水材料のアスベスト類の含有について

日新工業株式会社

平素は格別のご高配を賜り誠にありがたく、厚く御礼申し上げます。

現場採取材料中に含まれるアスベスト類についての現状についてご報告致します。

過去に弊社において、アスベストを使用した製品及び仕様に関しましては、以下の表にある通りでございます。

☆ 製造・販売していた弊社アスベスト含有建材

製品名	製造開始年	製造中止年 (アスベスト使用中止)	用途
アスベストフェルト	1943年	1986年	勾配屋根用下葺き材
アスベストウエルド	1943年	1986年	陸屋根用中貼りルーフィング
ビニエスタイル	1956年	1979年	塩ビタイルの充填材
アスファルトルーフコーチ ング	1959年	1989年	防水工専用シール材
NSパテ #500	1965年	2001年	NS防水の補修材
バンコーク	1965年	2001年	板金用のコーキング材
シングルセメント	1971年	1989年	アスファルトシングルの接着材
マルエスボード	1972年	1980年	断熱材(硬質ウレタンフォーム)
カスタムコーチング	1974年	1989年	防水工専用シール材
パロン	1975年	1985年	ハイパロンシートのバックング材
エスキャップ	1977年	1986年	陸屋根用露出ルーフィング
ICブロック	1982年	2001年	防水保護用ブロック材
ベストロンセメント	1983年	1989年	不燃シングルの接着剤
マルエスアスロックコーピ ング(B型)	1986年	1995年	天端用笠木

※いずれもクリソタイル(白石綿)として含有

上記製品について、アスベスト含有建築材料の分類としては、
「(石綿含有成形板等) レベル3」に分類されます。

上記以外のルーフィング類でも微量のアスベストが検出される場合があります。この場合に検出されるのは、クリソタイル・トレモライト・アクチノライトとなります。これらは天然鉱物(粉状のタルク、セピオライト、バーミキュライト及び天然ブルーサイト)中に不純物として含まれておりました。

1989年（平成元年）に製造中止したアスベスト繊維含有の接着剤「アスファルトルーフコーチング」「カスタムコーチング」「シングルセメント」「ペストロンセメント」はアスベスト繊維に代えセピオライトを使用していました。但し、代替として使用していたセピオライトにはトレモライトが一部含まれていたことを確認しております。

2006年（平成18年）には、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライトの3種類が新たに規制対象となっております。従って、過去の一定期間に弊社が製造・販売したルーフィング材及び副資材などから、微量のアスベストが検出されることがあります。これは、原料の天然鉱物中に不純物として含有される微量のクリソタイル・アクチノライトまたはトレモライトであると考えられます。よって、施工年月日、防水工法・仕様に限らずアスベスト含有率を分析調査されることを推奨致します。

※ 解体工事及び廃棄処分について

アスベストを含む製品の撤去作業等を行う場合は、労働安全衛生法、大気汚染防止法、石綿障害予防規則、その他条例等に従い、廃棄処分の場合には、廃棄物処理法、その他条例等に従い実施していただきます様、宜しくお願い致します。

以上